

# 諏訪地方の 経済概況 速報

2018.01

2017年12月末調査／2018年1月30日発行

SUWA AREA  
ECONOMIC  
OVERVIEW



諏訪信用金庫  
SUWA SHINKIN BANK

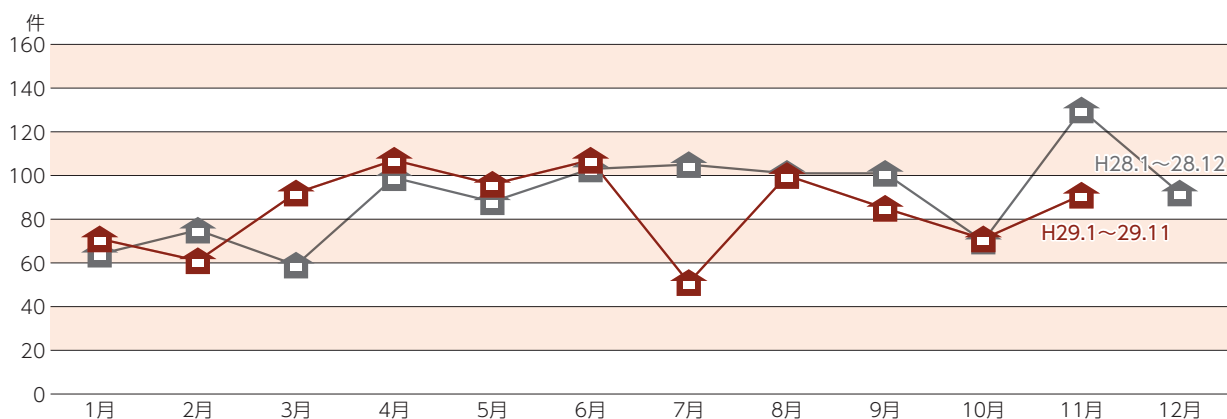
## 諏訪地方の概況

12月は、大納会で日経平均株価の年末終値が2万2764円と26年ぶりの高値となった。平成29年の日本経済は、10月に史上最長の16日連続上昇した株価をはじめ、GDPの29年ぶり7四半期連続プラス、有効求人倍率の43年ぶり高水準、失業率の24年ぶり低水準など、企業業績の回復に伴い、記録づくめの年だった。世界経済の回復や底堅い国内外の需要で、大企業製造業の景況感が回復し、中小製造業にも波及している。長野県経済も総体的に好調に推移した。

諏訪地方では、製造業は材料や部品不足の業種があるものの、総体的には高水準の生産が続いている。非製造業は、商業で年末年始需要があり、観光は天候に恵まれ、多くのスキー場が予定通りオープンした。建設業は設備投資に伴う民間工事に動きが出ている。諏訪地方の有効求人倍率は11月も高水準で推移し、人手不足が常態化している。  
(諏訪信用金庫の取引先約130社へのヒアリング調査による取りまとめ)

|                                   |    | 実数       | 前年同期比    |
|-----------------------------------|----|----------|----------|
| 有効求人倍率【11月】(諏訪公共職業安定所管内)          |    | 1.59倍    | 0.11ポイント |
| 手形交換高【12月】(諏訪手形交換所扱)<br>うち不渡り発生状況 | 枚数 | 4,296枚   | △267枚    |
|                                   | 金額 | 5,771百万円 | 85百万円    |
|                                   | 枚数 | 4枚       | △1枚      |
|                                   | 金額 | 2,117千円  | 1,157千円  |
| 車庫証明取扱件数【12月】(諏訪地方合計)             |    | 832件     | △5.5%    |
| 新設住宅着工戸数【平成29年4～11月】(諏訪管内)        |    | 708戸     | △11.2%   |

### ■新設住宅着工件数の推移(諏訪地方合計)



## 製造業

### 「総体的に好調維持」

自動車業界では、英・仏・中の当局がガソリン車やディーゼル車の規制検討を公表し、電気自動車(EV)へのシフトが進む動きがある。世界の自動車メーカーは次々とEV販売計画を明らかにし、中国では政府主導で技術基盤を育てようとしている。国内ではトヨタを中心に、技術開発を目指したメーカーのEV連合の動きが出ている。諏訪地方でもEV化の動きに向け、主力製品の切り替えを検討する自動車部品関連企業も見られる。

総体的には、需要が拡大している半導体製造装置関連、設備投資や人手不足に伴う省力化機械関連、自動車関連で旺盛な受注状況が続き、今後も継続見込みの企業が多い。ただ、部材不足の生産への影響もあり、後工程の取引先が部品調達に難航して製造できないため、納品の一時停止要請を受け、倉庫が満杯になって生産調整した企業がある。

|  |   |
|--|---|
| <b>金属製品</b><br>プレス、メッキ、熱処理など               | 自動車関連は大手企業の無資格検査問題の影響は少なく、先行きにも期待が持たれている。金型製品や省エネエンジン部品関連などが好調で、業界は底堅く推移している。メーカー共通部品の量産物の一部はやや鈍化した。半導体関連や省力化機械、ロボットに使用される受注品は依然高水準で推移し、生産能力が限界に達して新規受注を断る企業もある。  |
| <b>一般機械</b><br>工作機械、専用機械、省力機械、検査機械など       | 省力化機械は、省力化や自動化機器への投資意欲が旺盛でマイナス要因がなく、「バブル期の入り口のころの状況に近い」とする企業がある。1年先まで新規予約を確保した企業もあるが、省力化機械製造で使用するガイド（位置決め部品）や汎用品部品などが調達困難で、受注があっても断らざるを得ないとする企業もある。工作機械は堅調で、先行きも増加傾向になると見込まれている。半導体製造装置や自動車部品関連の製造機器は引き続き需要が多い。 |
| <b>電気機械</b><br>家電、パソコン、情報機器、電子デバイス、半導体関連など | 電子機器応用装置は、前年同月比大幅増加で好調に推移し、バブル期並みの忙しさの企業もある。自動車向けや工作機械向け電子部品の受注も高水準。スマホや家電をはじめ、多くの分野に需要が拡大している半導体関連部品は増産要請が強く、当面継続する見通し。プリンターは主要取引先の増産に伴い、高水準な企業がある。ただ、総体的に、モーターやギア、ベアリング、塩ビなどの部品材料の調達に時間がかかっている。               |
| <b>輸送用機械</b><br>自動車関連、ピストンリング、船外機、航空機部品など  | 自動車部品関連は世界的なEV化の動きはあるものの、現在は国内の新車販売が2年ぶりに500万台を超えるなど新型車の好調な売れ行きもあって、エンジン部品などは好調を維持している。海外向けの電気自動車に使用するエアコン部品の受注は好調だが、以前より高精度が求められる受注が増えている。減速機は、中国の産業用機械向け、国内の省力化機械向けで受注が活発で、農業機器は新興国の農業の機械化が進み、好調が続いている。       |
| <b>精密機械</b><br>時計、カメラ、光学機器、計量器、医療機器など      | 自動改札やスーパーのレジなどのバーコード読み取りレンズの需要が多く、業界では納期遅れが常態化している。精密機器と連動する高レベルな研磨技術が要求されるため、海外より優位性が高い。レンズ分野は、受注態勢は整っているものの、部品の調達遅れで売上に結びつかない企業もある。圧力計、感震器などは堅調で、今後も安定推移する見込み。デジカメは、全国の出荷額が3年ぶりに前年を上回り、高級機種向けが伸びている。          |
| <b>製造業全般</b>                               | 鋼材加工は、前年同月比で毎月売上が増加し、今後も続く見込み。寒天製造は冬場にかけて本格化するが、原材料の高騰が懸念される。ニットは業界全体で不況感が強い。秋冬物の出荷が終わり、春夏物への移行期だが、動きが鈍く、先行きの不透明感が強い。味噌は、最需要期を迎え増加傾向で、即席みそ汁や甘酒など加工食品も好調な動きとなっている。漬物製造は、野菜高騰の影響を受けている。                           |

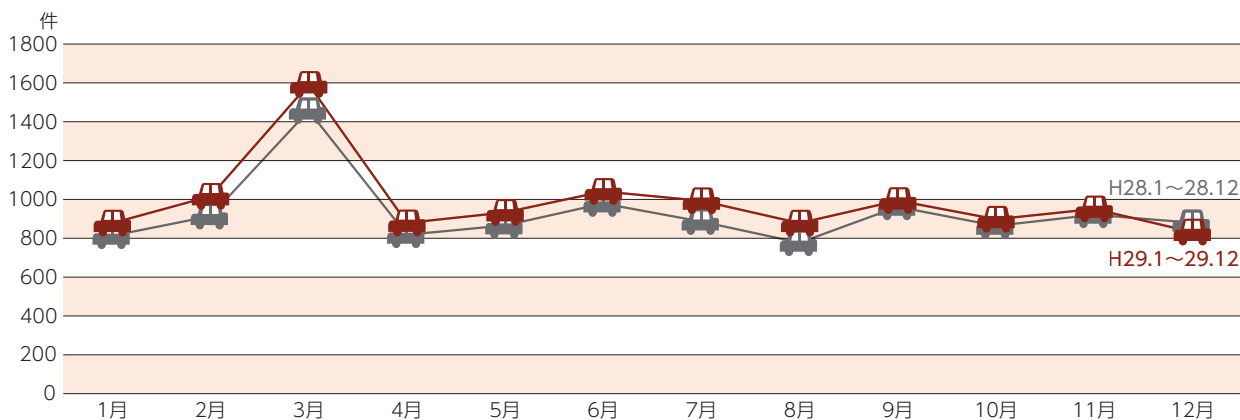
## 商 業

### 「身近な物の値上がりが家計を圧迫」

12月は、秋の台風や長雨に伴う低温で生育環境が悪化した影響で野菜の価格が高騰した上、ガソリン価格も上昇が続くなど、身近な物の価格が上がり、家計を圧迫した。鍋物シーズンを迎え、具材となる野菜の高騰は消費意欲を冷やした。全国的な景気回復傾向の中で、諏訪地方の消費者の財布のひもはまだ固く、以前ほど年末商戦は盛り上がりなくなっている。一方、仕入れ価格の上昇は、小売業や外食産業に影響を及ぼしたが、価格改定や各種イベントなど企業努力で忘年会シーズンの需要を取り込んだ企業は、売上が増加した。飲食店では、製造業を中心に業績が好転した企業の忘年会が増加し、新年会予約も例年を上回るペースとなっている。

|          |  |
|----------|--|
| 衣料       | 冬物衣料はブランド力がある店舗に顧客が流れる傾向がある。   |
| 食料品      | 白菜やレタス、キャベツ、大根など葉物野菜が高騰。仕入れ値が高く、赤字販売したスーパーもある。年末年始は、オードブルが盛況だった。   |
| 家電製品     | 冷え込みが強く、ファンヒーターやこたつなどの暖房器具の売れ行きが伸びた。平成30年は冬季五輪やワールドカップなどのスポーツイベントがあり、テレビ販売への期待がかかる。                        |
| 自動車      | 諏訪地方の12月の車庫証明件数は832件で、前年同月比48件、5.5%減少し、13ヶ月ぶりに前年同月を下回った。   |
| 飲食店      | 年末年始は日並びが良く、天候にも恵まれたため、客足は伸びた。ただ、仕入れ材料が高騰し、メニュー値上げのタイミングを図る店舗もある。  |
| 書店       | 日記や手帳は伸びたが、例年売れる子供向けの絵本が伸びなかった。クリスマスで本をプレゼントする家族が減少している。広辞苑が10年ぶりに改訂され販売されるが、ある程度の予約はあるものの、ネットの普及で以前より少ない。 |
| コンビニ     | クリスマスケーキやおせち料理の注文は前年を上回ったが、たばこの販売が落ちたことなどで、前年割れとなる店舗があった。  |
| ガソリンスタンド | 好天でタイヤ交換が順調に進み、年末の洗車も多かった。灯油販売が増加している。   |

## ■車庫証明件数の推移



## 観光・サービス業 「冷え込みでスキー場は予定通り開場」

本格的な冬観光のシーズンを迎え、12月の諏訪地方は平年に比べて、積雪がかなり少なく晴れた日が多かったが、気温が低かった。諏訪地方のスキー場は、冷え込みが強かったことで造雪作業が進み、前年より滑走可能な区域を増やして、予定通りの時期にオープンできた施設が多い。ただ、北信方面のスキー場の状態も良く、スキー客の分散傾向も見られる。諏訪湖周辺の施設では団体客が増加し、宴会需要が増えた。諏訪地方から外部への動きは、冬季五輪前で韓国旅行が安価だが、北朝鮮の核・ミサイル問題や慰安婦問題があり、動きは非常に悪い。

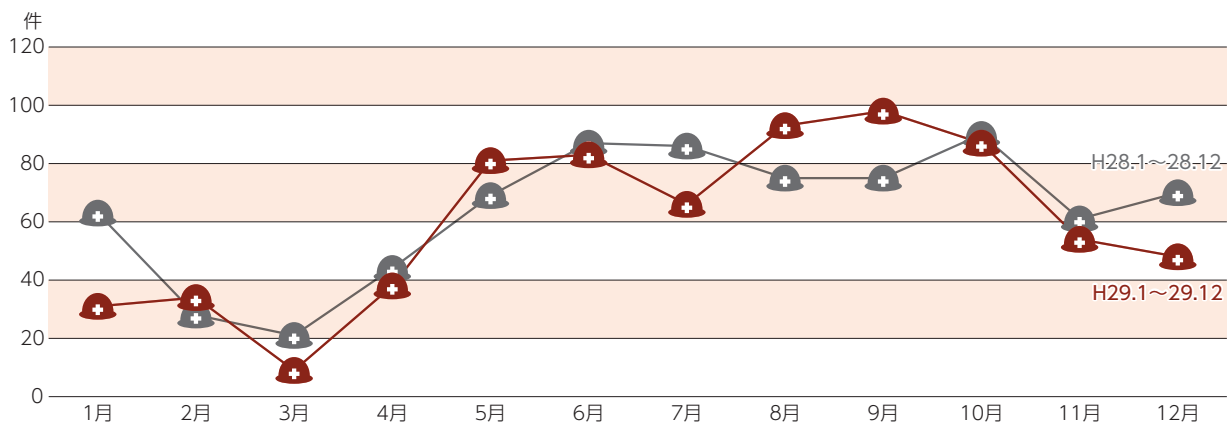
|                   |  |
|-------------------|--|
| <b>上諏訪温泉</b>      | 総合的な12月の宿泊人数は前年より増加した。東北や関東方面からの30人以上の謝恩旅行の団体客が前年を大幅に上回り、インバウンドも増加した。忘年会の日帰り客も増加し好景気を反映した。冬の宿泊キャンペーンは諏訪湖花火大会栈敷席券やペア宿泊券などの特典をそろえて誘客を図る。 |
| <b>下諏訪温泉</b>      | 企業の忘年会が増加したが、宿泊客の客単価が低下した。テレビ番組の影響などで最近では女性の一人旅が増加している。  |
| <b>蓼科・白樺湖・車山等</b> | 例年になく、個人のスキーレッスン予約が多く週末が盛況。家族連れも多い。中高年の冬山ハイキングも増えている。スキー場は低温が続き良好な状態だが、積雪量は少なく、スノーマシンがフル稼働で、維持費や燃料費が懸念材料となっている。                        |
| <b>諏訪大社</b>       | 上社・下社合わせた12月の参拝者数は約3万7千人。前年同月比では約2百人の減少(△0.5%)となった。下社春宮の参拝客が増加傾向となっている。  |

## 建設業 「公共工事件数が減少傾向」

12月の市町村からの受注工事は合計48件、441百万円となった。前年同月に比べ、件数は22件減少し、契約金額は51百万円増加した。国県関係の平成29年4月～12月の累計公共工事(地元業者受注分)は、前年度より件数は減少したが、契約金額は増加した。民間工事は、諏訪地方の11月の新設住宅着工戸数が91戸で、前年同月比39戸減少(△30.0%)した。平成29年4月～11月の累計では89戸減少(△11.2%)の708戸で、7月ごろから減少傾向が続き、貸家と分譲の減少が目立つ。

|             |   |
|-------------|---|
| <b>公共工事</b> | 12月に地元業者が受注した国県関係の公共工事は、諏訪建設事務所3件、諏訪地域振興局農地整備課3件の合計6件で、契約金額は71百万円だった。4～12月の累計は111件、4,062百万円で前年同期の累計比で件数は17件減少し、契約金額は369百万円増加(10.0%)した。市町村からの12月の受注工事は、建築工事0件、土木工事および下水道工事34件379百万円、その他工事14件62百万円となった。 |
| <b>民間工事</b> | 諏訪地方の11月の新設住宅着工戸数は、前年同月比の利用関係別で「持家」は1戸減少の65戸、「貸家」は4戸減少の10戸、「分譲」は40戸減少の10戸、「給与」は前年同様0戸だった。長野県内の11月の新設住宅着工戸数は1,119戸で、前年同月比1.3%減少した。前年同月比の利用関係別では、「持家」は2ヶ月ぶりの減少、「貸家」は6ヶ月ぶりの増加、「分譲」は4ヶ月ぶりの減少となった。         |

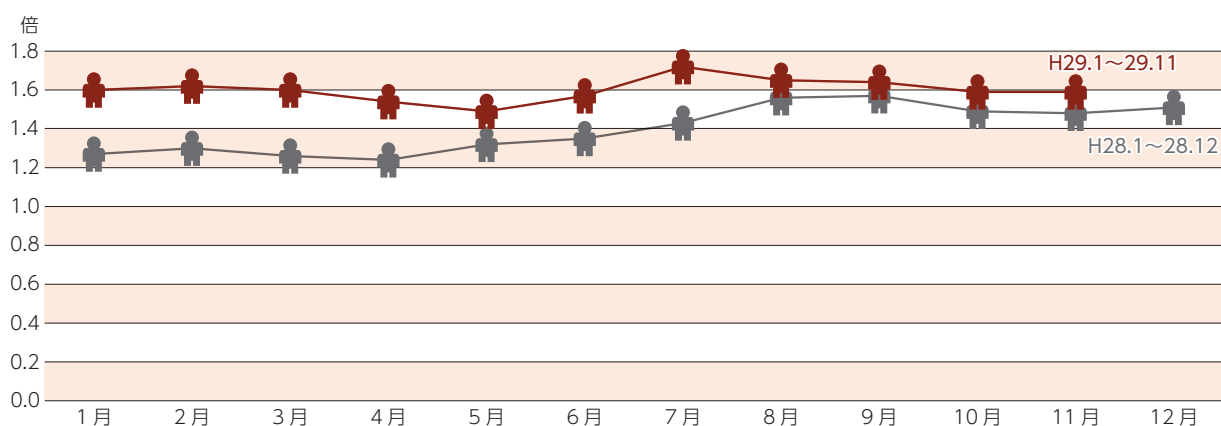
■公共工事の推移(市町村合計件数 調査・測量・設計など業務委託は除く)



諏訪地方の11月の有効求人倍率は、前年同月を0.11ポイント上回り、前月と同じ1.59倍となった。6ヶ月連続で1.5倍台を越す高水準が続く。1倍台の維持は44ヶ月連続で、前年同月を上回るのは54ヶ月連続となった。長野県平均は前月を0.03ポイント上回る1.72倍で、25年ぶりの1.7倍台となり、全国平均を41ヶ月連続で上回っている。全国平均は前月を0.01ポイント上回る1.56倍で、43年10ヶ月ぶりの高水準。完全失業率は2.7%で24年ぶりの低水準となった。

諏訪地方の新規求人数（全数）は1,684人で、前年同月比16人減少（△0.9%）した。要因別では、「継続する人員不足」「業務量増大」「欠員補充」「創業・新分野展開」の順。業種別の前年同月比の新規求人数は「運輸業」「医療・福祉業」が増加し、「飲食店・宿泊業」が減少した。新規求職者数は713人で、前年同月比33人増加（4.9%）した。1件10人以上の人員整理はなく、事業主都合による雇用保険資格喪失者は47人で、前年同月より26人増加、前月より19人増加した。

### ■有効求人倍率の推移



## 《企業のひとこと》

- 部品生産企業が、日本企業向けより中国企業向けに部材を優先して出荷しているのはおかしい（一般機械製造業）。
- パート採用は、いかに働きやすい環境を作るかが大切で、「口コミ」になる（電気機械製造業）。
- 医療機器分野は期待するが、業界特性で新規参入は様々な課題が多い（精密機械製造業）。
- 働き方改革が話題だが、製造業の生産性向上はすでに限界。これ以上の効率化は人がいない全自動になるが、何のための仕事か分からなくなる（輸送用機械製造業）。
- アルミ、ガスなどの原材料が半年で30%近く値上がりし、ダンボールなどの梱包材も値上がりしている（金属製品加工業）。
- 大手は低価格で顧客獲得を狙うが、値下げで小売店や農業生産者にしわ寄せがくる（商業）。
- 今の働き方改革では「やらない従業員」を正当化してしまい、頑張る社員に影響する（建設業）。
- ネット予約は、仮押さえ的な感覚で予約を多数入れ、直前に行き先を決め、他をキャンセルする顧客が増えつつある（観光業）。
- 主要都市からの専用バス運行など、当地にはない集客方法がある北信方面にスキー客が流れている（観光業）。

## 2020年ドバイ万博に向けたビジネスチャンス

ジェトロ・ドバイ博覧会チーム 水野 光 (2010年から2012年まで諏訪支所勤務)

「2020年」、皆さん何を思い浮かべますか？多くの方が東京オリンピック・パラリンピックだと思えますが、実はもう一つ世界的なビッグイベントが行われます。それが10月から翌年4月まで行われる「ドバイ国際博覧会(万博)」です。万博は5年に一度、会期を半年間として規模の大きな「登録博」が開催されています。ドバイ万博は2005年愛知万博、2010年上海万博、2015年ミラノ万博に続く、中東・アフリカ地域初の万博です。日本も昨年4月に幹事省を経済産業省、副幹事省を総務省、文部科学省、農林水産省及び国土交通省、ジェトロを参加機関として公式参加を決定しています。

### 中東・北アフリカ地域のハブを目指すドバイ

会場となるドバイは現在300社超の日本企業が進出しています。これは中東・北アフリカ地域最大の進出数で、その多くがドバイを拠点としつつも、その他の中東諸国やアフリカ等の地域までビジネスを展開しています。UAE政府も地域ハブとしての取り組みを進めており、地理的に近いアフリカ、中央アジア、インドといった有望な新興市場へのゲートウェイとしての地位を確立し、ドバイの成長につなげる戦略をとっています。そのために、世界150地域以上の就航都市を持つエミレーツ航空等によるネットワーク拡大や、地域最大規模の港湾であるジュベイル・アリ港の整備、また人的ネットワークの集積を推進しています。例として、2013年からドバイにて「アフリカ・グローバルビジネスフォーラム」を開催、アフリカ各国から国家元首、大臣クラスが参加し、ビジネス関係者等5,000名以上が参加しています。またドバイ商工会議所もエチオピア、ガーナ、モザンビークなどに海外拠点を広げています。

### 多くの来場者が見込まれるドバイ万博

こういった状況をふまえ、ドバイ万博では「心をつなぎ、未来を創る」を万博全体のテーマとし、「移動性」「機会」「持続可能性」の3点をサブテーマとしています。このテーマ・サブテーマをふまえて参加する国・企業・学術機関などがパビリオンにおいてそれぞれの持つ技術や製品等を通じたメッセージを展示します。

半年間の会期の中で、2,500万人の来場者を見込まれています。ドバイ万博がこれまでの万博と比較して特徴的なのは、UAEの人口は約1,000万人(うち自国民は約100万人)と大きくないことから、来場者の70%が外国人を見込んでいることです。すなわち、ドバイ万博におけるPRはUAEの人たちのみならず、幅広い地域へのアプローチにつながります。

こうした機会を活用すべく、前回のミラノ万博では日本館の中にイベント広場を設け、35の自治体、20の国内団体などにご参加頂き、自治体の魅力や特産品などを来場者にPRして頂きました。

また日本館のみならず、万博に向けたインフラ整備等のビジネスチャンスも期待されます。ドバイ万博主催者によると、2017年において47件・総額約3,300億円の建設プロジェクトを実施見込みで、建設以外の分野でも約100件の調達を行う予定です。特に、ドバイ博に向けた契約全体のうち20%の予算を中小企業に割り当てると宣言しています。



ドバイ万博予想図

テレビ等で話題になることも多いものの、実はなかなか来る機会が少ない中東・ドバイ。2020年の万博に向け、是非足を運んでみてはいかがでしょうか。

表 ドバイ万博 海外からの来場者内訳(見込み)

| 地域           | 割合  |
|--------------|-----|
| GCC(湾岸協力理事会) | 23% |
| ヨーロッパ        | 21% |
| その他中東・北アフリカ  | 11% |
| 南アジア         | 18% |
| 北アジアおよび東南アジア | 9%  |
| 北米及び中南米      | 6%  |
| アフリカ         | 5%  |
| ロシア・CIS      | 5%  |
| オーストラリア      | 2%  |

出展 ドバイ万博公社



SUWA SHINKIN BANK

## 諏訪信用金庫

長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

TEL 0266-23-4567 FAX 0266-23-8044

<http://www.suwashinkin.co.jp/>